保証書

型番　PSD-21	
シリアルナンバー	
お客様	お名前
	ご住所 〒 TEL
販売店	販売店名・住所・TEL 担当者名
保証期間　12ヶ月	お買い上げ年月日　　年　　月　　日

※必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

保証規定

1. 保証期間内(お買上げ日より12カ月間)に正常な状態でご使用の場合に限り品質を保障しております。
万一保証期間内で故障がありました場合は、当社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を商品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
2. 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
（1）保証書をご提示いただけない場合。
（2）所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
（3）取扱い上の不注意による故障・損傷の場合。
（4）お客様による輸送・移動中の衝撃による故障・損傷の場合。
（5）天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障・損傷の場合。
3. お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
4. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責を負わないものとします。
5. 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
6. 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用はお客様のご負担となります。
7. 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
8. 保証書は日本国内においてのみ有効です。

切取線

最新の情報はWEBサイトで!!　http://www.sanwa.co.jp/

■サポート情報
■ドライバのダウンロード
■よくある質問（Q&A）
■各種対応表　　など、最新情報を随時更新しています。

▼トップページから　　▼“サポート&ダウンロード”コーナーへ



ご質問、ご不明な点などがございましたら、ぜひ一度、弊社WEBサイトをご覧ください。

サンワサプライ株式会社

岡山サプライセンター／〒700-0825　岡山市田町1-10-1　☎086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライセンター／〒140-8566　東京都品川区南大井6-5-8　☎03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所/〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌　☎011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所/〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37宝栄仙台ビル　☎022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所/〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7カジヤマビル　☎052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所/〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45新大阪八千代ビル　☎06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所/〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20第2博多相互ビル　☎092-471-6721 FAX.092-471-8078
金沢営業所 ☎076-222-8384

07/10/JMDaT

SANWA SUPPLY

パーソナル シュレッダー 取扱説明書



PSD-21

最初にご確認ください

セット内容

●PSD-21本体 ………………………… 1台
●取扱説明書・保証書(本書) ………………… 1部

※万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡してください。

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

安全にお使いいただくために

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

注意を促す記号	行為を禁止する記号		行為を指示する記号	
一般的な注意	禁止	分解禁止	電源プラグをコンセントから抜く	一般的な強制

警告

異常(発煙・変な臭い)な状態のまま使用しない。
火災や感電の原因となります。
※電源を切り、電源プラグを抜いてから、販売店または当社営業所にご相談ください。

分解・修理・改造は絶対しない。
火災や感電の原因となります。
※修理は、販売店または当社営業所にご依頼ください。

表示された電源・電圧以外で使用しない。
火災や感電の原因となります。

高い場所や、不安定な場所には設置しない。
転倒して、故障やけがの原因となります。

異物(金属・水など)が入った場合は、スイッチを切り、電源プラグを抜く。
火災や感電の原因となります。
※販売店または当社営業所にご相談ください。

電源コードが破損するようなことはしない。
・電源コードの上に重いものを乗せない。
・加工したり傷をつけたりしない。
・無理に曲げたり、ねじったりしない。
・加熱しない。
・熱器具に近付けない。
火災や感電の原因となります。

可燃性スプレー(エアダスター等)は使用しない。
機械内部やダストボックスにガスが残留し、引火・爆発の恐れがあります。

ご注意

注意



お子様には絶対に触れさせないで下さい。
本体内部にはカッターの刃があり、ケガの原因となる恐れがあります。また、事故防止の為ご使用後は必ず電源を切り、電源プラグを抜いて下さい。

髪の毛、ネクタイ、ネックレスなどを投入口にたらさない。
引き込まれて、けがの原因となります。

本体の上に重いものを置かない。
倒れたり、落下して、けがの原因となります。

投入口や排出口には、指を入れない。
内部にカッターがあり、けがの原因となります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない。
感電の原因となります。

湿気やほこりの多い場所に置かない。また、水をかけない。
火災や感電の原因となります。

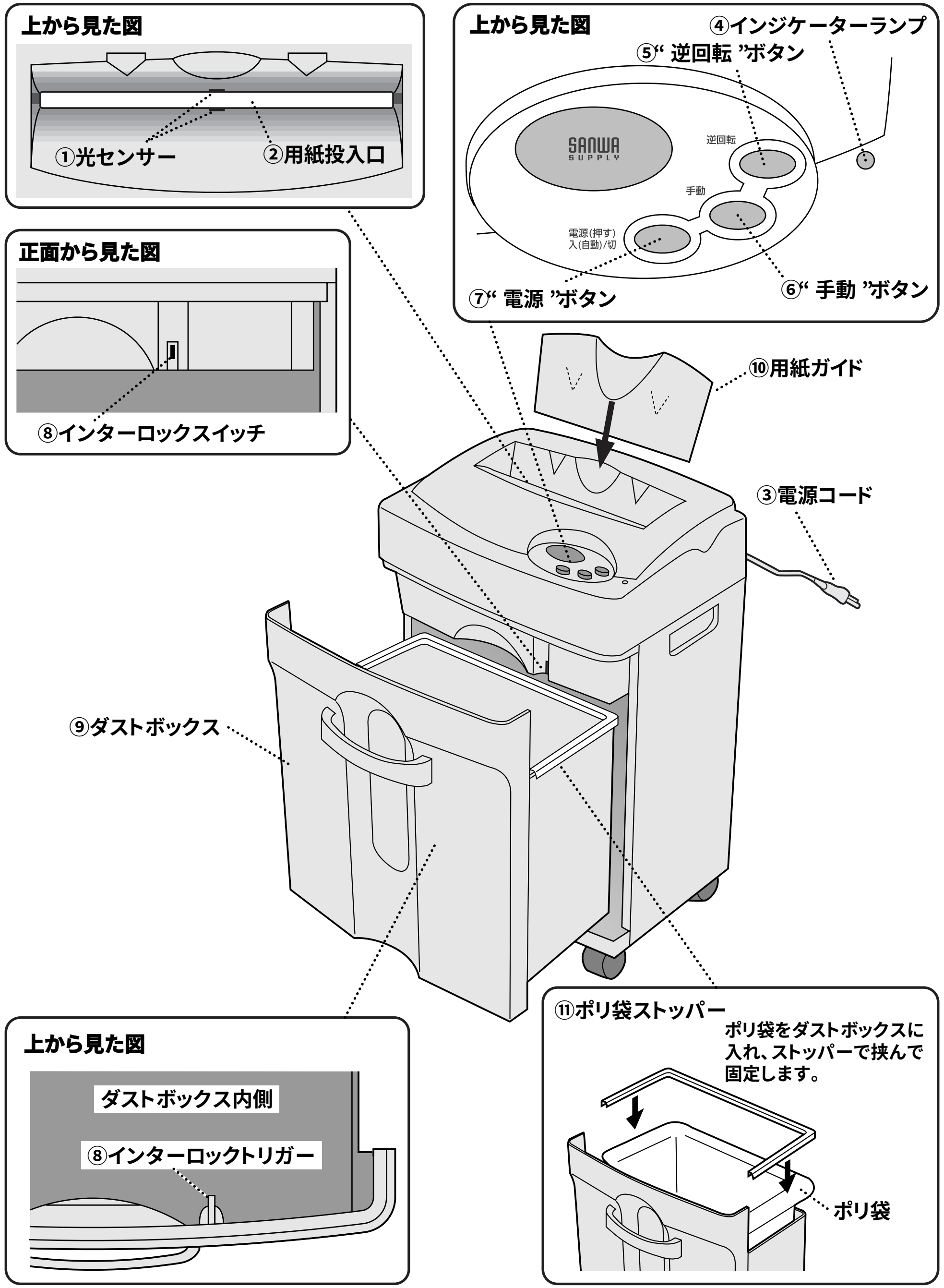
長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。
漏電・火災の原因となります。

電源プラグを持って抜く。
電源コード部を引っ張ると感電したり、ショートして発火することがあります。

移動の際は電源プラグをコンセントから抜く。
電源コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

お手入れ・点検の際は、電源プラグを抜く。
感電やけがの原因となります。

各部の名称と働き



①光センサー

電源が入っている時、用紙投入口中央にある光センサーを用紙が通過するとカッターが正転作動し、
細断を開始します。

②用紙投入口

細断する紙を投入します。紙以外の投入は絶対に避けてください。
必ず規定細断枚数を守ってください。

③電源コード

必ず家庭用ＡＣ１００Ｖのコンセントに接続して使用してください。タコ足配線は避けてください。

④インジケーターランプ

“ 電源 ”ボタンを押すと、インジケーターランプが“ 緑色 ”に点灯し、電源が入ります。
紙詰まりが起こりオートリバース機能が働いた時や、長時間の細断でオートカットオフ機能が
働き作動停止した時はインジケーターランプが“ 赤色 ”に点灯します。

⑤“ 逆回転 ”ボタン

電源が入っている時、"逆回転"ボタンを押すと、カッターは数秒間正転とは逆方向に作動します。
（紙が詰まった時などに使用します。）

⑥“ 手動 ”ボタン

電源が入っている時、"手動"ボタンを押すと、カッターは一定時間正転作動します。

⑦“ 電源 ”ボタン

"電源"ボタンを押すとインジケーターランプ “ 緑色 ”が点灯し、電源が入ります。
細断する紙が光センサーを通過することによりカッターが自動的に正転作動・停止します。
使用後は再度"電源"ボタンを押して、電源を切ってください。

⑧インターロックスイッチ/トリガー

ダストボックスをセットすることにより、インターロックスイッチとトリガーがかみ合います。
インターロックスイッチとトリガーがうまくかみ合っていない場合は、安全のために本機は作動しません。

⑨ダストボックス

細断クズを収容するダストボックスです。引き出して細断クズを取出します。貯めすぎないように
こまめに取出してください。細断クズは各地方自治体の法令に従って分別し、廃棄してください。

⑩用紙ガイド

着脱可能の用紙ガイドです。**取付ける場合は「カチッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。**

⑪ポリ袋ストッパー

ダストボックスにポリ袋を固定できます。

⚠ 注意	必ずコンセントに近く、電源プラグを容易に取外しできる場所に 本体を設置してください。

ご使用の前に

本機は紙類の細断専用機です。

※クリップなどの金属や、CD・DVD・クレジットカード類、
OHPシート・新聞紙・カーボン紙・感熱紙・ポリ袋・布・ビニール・フィルムなど、
ラベル用紙・シールなどの糊の付いた物は投入しないでください。

細　断　能　力

紙詰まりなどによる故障を避けるために、下記の細断枚数を必ず守ってください。

種　類	摘　　要	カットタイプ	規定細断枚数
紙　類	A4（コピー用紙 64g/m²）	クロスカット（3×25mm）	7枚（50Hz） 6枚（60Hz）

※紙質や湿度等により細断枚数は異なります。
※用紙投入口（A4サイズ）より大きな紙を細断する場合は、投入口より小さい幅に折ってから細断を開始してください。（規定枚数を超えないようにしてください。2ツ折/1枚=2枚）

⚠ 注意	**紙以外の物は絶対に投入しないでください。** ■故障やけがをすることがあります。

⚠ 警告	**投入口にネックレス・ネクタイ・衣類・髪の毛などが引き込まれないようにしてください。** ■感電やけがをすることがあります。 もしも引き込まれそうになった時は、“ 逆回転 ”ボタンを押して取除いてください。

ーオートカットオフ機能ー

本機はモーター保護のためオートカットオフ機能が働いて、連続運転（10分以上）を続けたり、書類がかみこんだ状態で放置すると、自動的に停止します。この機能が働き本機が停止した時は"電源"ボタンを押してインジケーターランプを消灯し、電源プラグを抜いて放置してください。
20分後には再び細断可能になります。

ーインターロックスイッチー

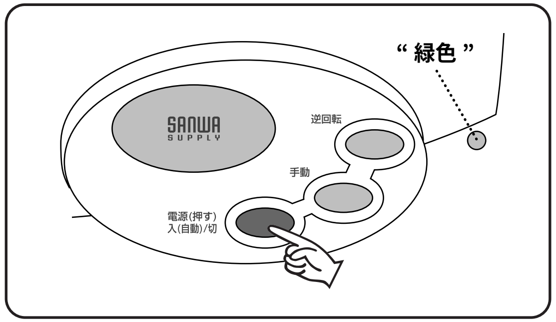
ダストボックスが正しい位置にないと、インターロックスイッチが働かず、安全のために本機は作動いたしません。インジケーターランプが"赤色"に点灯し、"ピーッ"と警告音が鳴ります。ダストボックスを奥までしっかりと入れ直してください。インジケーターランプが"緑色"に点灯して、細断可能になります。

ご使用方法

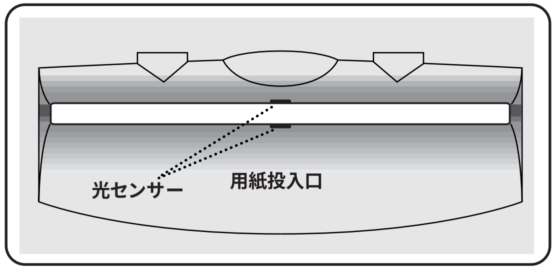
●自動細断

1. 電源プラグをコンセント（100V）に差し込んでください。

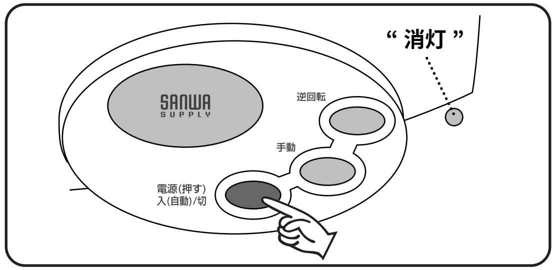
2. “ 電源 ”ボタンを押してください。インジケーターランプが“ 緑色 ”に点灯します。
※ダストボックスが正しい位置にないと本機は作動いたしません。
ダストボックスは奥までしっかり入れてください。



3. 細断する紙を用紙投入口の中央にまっすぐ入れてください。
光センサーの前を通過するとカッターが正転作動し、細断を開始します。
規定細断枚数を必ず守ってください。
※**光センサーが感知できるように、**まっすぐ投入してください。
光センサーから外れると、細断は止まります。



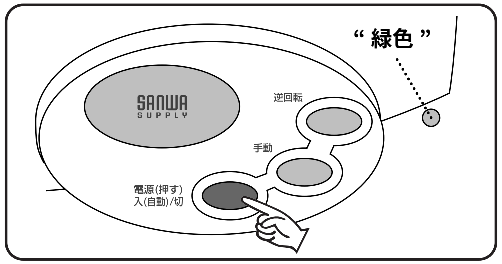
4. 終了後は、必ず“ 電源 ”ボタンを押して、**インジケーターランプを消灯し、電源プラグを抜いてください。**



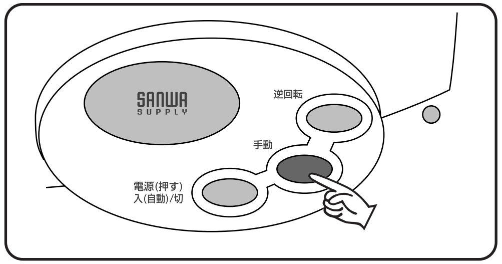
●手動細断（光センサーを通らない形の紙を細断する場合など）

1. 電源プラグをコンセント（100V）に差し込んでください。

2.“ 電源 ”ボタンを押してください。インジケーターランプが“ 緑色 ”に点灯します。
※ダストボックスが正しい位置にないと本機は作動いたしません。
ダストボックスは奥までしっかり入れてください。



3.“ 手動 ”ボタンを押してください。カッターが一定時間正転作動します。



4. 細断する紙を用紙投入口に入れてください。**規定細断枚数を必ず守ってください。**
細断途中でカッターの回転が止まった場合は再び“ 手動 ”ボタンを押してください。

5. 終了後は、必ず“ 電源 ”ボタンを押して、**インジケーターランプ“ 緑色 ”を消灯し、電源プラグを抜いてください。**

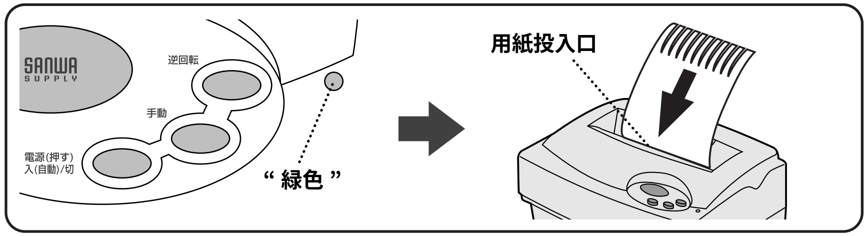
紙詰まりを起こしたとき（オートリバース機能）

1. 規定枚数以上の投入、紙を斜めに投入したなどで紙詰まりが起きると、オートリバース機能が働き、インジケーターランプが“ 赤色 ”に点灯し、自動的に用紙投入口へ紙が戻ります。詰まった紙を引き出してください。
※容易に引き出せない場合、“ 逆回転 ”ボタンを押しながら、詰まった紙を引き出してください。



※逆回転の際、以前に細断した紙が出てくる場合がありますが、製品の異常ではありません。

2. インジケーターランプが“ 緑色 ”に変わったら、紙の量を規定枚数以下に減らして、細断した逆側の方向から用紙投入口にまっすぐに入れてください。



3. 終了後は必ず"電源"ボタンを押して、**インジケーターランプを"消灯"し、電源プラグを抜いてください。**

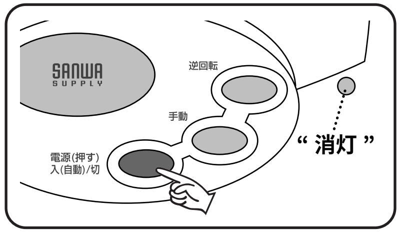
★モーターに負担がかかりますので、頻繁に正転⇔逆回転を繰り返さないでください。

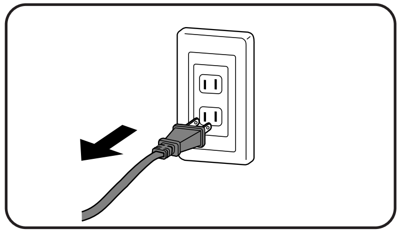
⚠ 注意	**紙詰まりを起こしたままの状態で放置しないでください。** ■故障する原因になります。

細断クズの捨て方

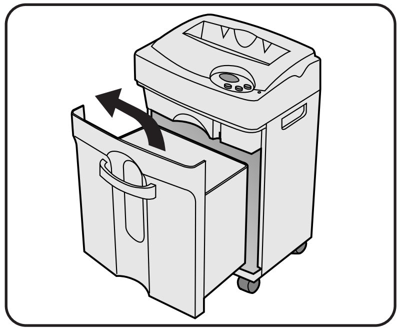
●安定した状態を保つため、ダストボックスの8分目程度で細断クズを捨てることをおすすめします。

1. 必ず“ 電源(自動) ”ボタンを押して、インジケーターランプを消してください。
インジケーターランプが消灯していることを確認してから、電源プラグをコンセント（100V）から抜いてください。
※電源プラグを抜かずに細断クズを捨てると、コードが引っかかったり、本体が落下してけがをしたり、本体の故障の原因となる場合があります。





2. ダストボックスを引き出して細断クズを取り出します。



※インターロックスイッチ/トリガーを破損しないように丁寧に取り扱ってください。
※細断クズは各地方自治体の法令に従って分別し、廃棄してください。

使用上の注意とお願い

規定以外のものは入れないでください。
※金属や衣類は、カッターに損傷をあたえ、故障の原因となります。

湿った紙やカーボン紙、シールのついた紙は入れないでください。
※カッターに細断クズがからまり、裁断性能を低下させます。

紙詰まりを起こしたままの状態で放置しないでください。
※故障する原因になります。

必要以上に逆回転させないでください。
※細断クズが投入口にたまり、故障の原因となります。

使用後は必ず電源ボタンを押し、インジケーターランプを消してください。

ダストボックスを外した状態では、安全装置により本機は作動いたしません。

必ず規定枚数・連続運転時間を守ってご使用ください。
※モーターを傷めたり、故障の原因となったりします。



	紙
規定枚数	6枚（60Hz） 7枚（50Hz）
連続運転時間	10分

⚠ **注意**　**分解、修理、改造を行わないでください。**
■感電やけがをすることがあります。

仕　様

PSD-21(クロスカット)

細　断　物	A4コピー用紙
投　入　幅	220mm
細断形状	3×25mmクロスカット
細断枚数	7枚（50Hz）/6枚（60Hz）
細断時間	3.0m/分（50Hz）、3.5m/分（60Hz）
電　　源	100V、50/60Hz
消費電力	200W
サ イ ズ	W330×D240×H465mm
バケット容量	14ℓ
騒　　音	約60db
重　　量	11Kg
連続使用時間	約10分（20分休止後再運転可）

お手入れ

⚠ **注意**　**点検の際は、電源ボタンを押して、インジケーターランプを消し、電源プラグを抜く。**　■感電やけがをすることがあります。

本体の外側の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。
汚れがひどい時は、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
※お手入れはマシン本体の外樹脂部とキャビネット（マシン下部）だけにしてください。
●ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉などでは、絶対に拭かないでください。
※ひびわれ、変形、変色、故障の原因となります。

おや？故障かな？と思ったら・・・

⚠ **注意**　**点検の際は、電源ボタンを押して、インジケーターランプを消し、電源プラグを抜く。**　■感電やけがをすることがあります。

状　況	調べるところ	直し方
動かない	電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？	電源プラグを正しくコンセントに入れ直してください。
	電源ランプが"緑色"に点灯していますか？	“電動”ボタンを押し、インジケーターランプを"緑色"に点灯させてください。
	細断物が投入口中央の光センサーを通過していますか？	センサーが感知できるようにまっすぐに投入してください。
	ダストボックスが正しくセットされていますか？	ダストボックスが正しくセットされていないと安全装置が働き作動しません。奥まできちんと入れてください。
	紙詰まりを起こしていませんか？	”逆回転”ボタンを押して、詰まった紙を取除いてください。
細断中に止まったまたは細断できない	長時間の使用により、オートカットオフ機能が働いていませんか？	連続運転時間をこえて細断したり、紙がかみこんだ状態で放置すると、オートカットオフ機能が働いて停止します。電源プラグを抜いて、約20分そのままおいてください。再び細断を再開できます。
	紙を多く入れすぎていませんか？	規定細断枚数以下にして細断してください。
	投入口の幅より大きな紙を入れていませんか？	投入口の幅より小さな紙で細断を行ってください。
	紙が斜めに挿入されていませんか？	まっすぐに挿入してください。
	クリップ・ピンなどをかみ込んでいませんか？	一度逆回転させた後、電源を切り、電源プラグを抜いて、本体を逆さまにするなどして取除いてください。

※点検後、なお異常がある場合は販売店または当社営業所にご連絡ください。